



# 県議会報告 岡本かずやの「元気印」

四万十市事務所 :0880-34-3174 携帯:090-7573-8193

2024年10月13日 No.67

## 文化施設利用に、新たな県民負担は認められない



今議会で私が質問した時の写真が出てきました。必死な目で知事に訴えています。

### 和也の近況

自民党新総裁が決まり、新内閣も決まりました。「裏金問題」「旧統一教会との関係」は、新総裁の元でも、闇・闇・闇です。九月県議会でも、自民党県議から知事に対して新総裁就任の感想を聞かれていました。県政への影響は、いかがな物でしょうか。さあ、総選挙では、県民の願いが叶う審判を下しましょう。

### 九月定例県議会も終盤

十月四日、危機管理文化厚生常任委員会が行われました。その内容について、下段で紹介します。

### 危機管理文化厚生常任委員会

付託事件・一般会計補正予算（危機管理文化厚生委員会が所管）は、①母子父子寡婦福祉資金特別会計補正予算、②電気事業会計補正予算、③病院事業会計補正予算、④手数料徴収条例の一部改正、⑤五件の設置及び管理の一部を改正、⑥病院事業料金徴収条例の一部改正などの十一でした。

### 新たな県民負担は認められない

五件の設置及び管理は、①県民文化ホール、②県立美術館、③県立文学館、④県立歴史民俗資料館、⑤県立都市公園（高知城）の入館料金や使用料の値上げ条例案です。

☆私はこの議案に対する質疑の中で、「県民の暮らしは諸物価の高騰などで困窮している。そんな中で文化や芸術施設の利用料等の値上げは、文化や芸術から県民を遠ざける事につながる可能性がある」と五件の議案に反対しました。

### 共同で意見書を提出

私たちの委員会、日本共産党は県民の会と共同して二件の意見書を提出しました。

- 一、現行の健康保険証の存続を求める。
- 二、「子ども医療費助成」の後退を許さず、さらなる充実を求める。

☆自民党などから意見一致が得られず、差し戻しをさせられました。再提出もあります。